



解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。折りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

2024. 5 月第 666 号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

パウロがコリントの教会にこの手紙を書き送った時、教会は、信仰的にも、道徳、倫理的にも混乱の中にあつた。強い者が弱い者を虐げ、自分たちは、どんなことでもできると嘯き、その本能の赴くままに、厭うべきあしき行いに耽る。彼らはパウロの説く、「律法からの解放」(ロマ7:6)を、自分たちに都合よく解釈曲解したのだ。

瞑想
私には、すべてのことが許されています。しかし、すべてのことが益になるわけではありません。私には、すべてのことが許されています。しかし、私は何事にも支配されはしません。

Iコリ6:12(協)

主幹牧師 榎本 恵

食べるにしろ、飲むにしろ、何をするにしても、神の栄光を現すために行うこと。これがパウロの言うところの「許された」自由なのだ。天地創造の後、蛇は狡猾にも、こう女に問うた。「園のどの木からも食べて

由であることを、決して忘れてはならない。世界は、常に自由を求めている。結婚の自由、職業の自由、選択の自由、言論、表現の自由、精神の自由。人類の歴史は、この「自由」獲得の歴史であるといっても過言ではない。けれども、その自由が、ただ自らの腹を満たすためのもの、すなわち人間の無限の欲望を満たすための自由であるなら、それは自由ではなく放縦にしか過ぎない。パウロの言う、すべてに益にならないこと、支配されないこととは、まさにこの自由なのだ。

友よ、私たちにはすべてのことが許されている。けれども、神なき欲望に支配される自由であってはならない。私たちは、いつも、園の真ん中にある木の果実のあることを忘れないでいよう。

榎本和子姉召天記念礼拝及び

講演会 感謝

榎本 恵

本日はご多忙の中、榎本和子記念礼拝、そしてこの後の講演会にご参列くださり、ありがとうございます。また、内山牧師をはじめ、京都葬教会の皆様には、想いと心の込められた、礼拝をご準備くださり、心より感謝いたします。



記念礼拝、内山友也牧師（葵教会）和子さんが会堂で共に座っておられるような恵みの時を…感謝致します。

昨年8月15日に天に召されました、母和子の前夜式ならびに葬送式は、たつての本人の希望によりアシラム

センターで、近親のもののみで執り行われました。時期的にも、また場所的にも、限られた中での式でしたので、後から多くの皆様より、「最後のお別れをしたかったのに」とか「ぜひ何かの形で記念会を」と言うお声をいただいております。あれから半年以上が過ぎましたが、こうして葵教会の皆様のご厚意により、アシラムセンターと京都葬教会の共催という形で記念会を行うことができましたことは、誠に感謝であります。生前の母と親しくお交わりいただき、また変わらぬ深い愛情を持ってくださいました皆様方に、こうしてお集まりいただけたことは、私たちの残された家族にとって



引き締まった良い集会に感謝です。

も、また先に天に帰った母、妹てる子、そして父榎本保郎にとっても、大きな喜びであります。

実は、私は、昨日まで沖縄のサマリヤ人病院でチャプレンの仕事をしておりました。この3月より、「特殊疾患病棟」という、精神的病を負い、また認知症を患い、内臓疾患を抱え、寝たきりの状態にある方々の終末期医療に牧師として関わってもらいたいという病院理事長の要請で、月に一度一週間だけではありませんが、80床余りの病棟を訪ねていま



孫の榎本空兄による講演会。和子おばあちゃんに届きますように。

す。理想は、皆住み慣れた家でその最期を迎えたい、けれどもさまざまな事情によりそうできない多くの方たちがおられるのが現実です。そういう意味では、母が、その死の前日まで、在宅医療を受けられたことは、本当にかかりつけの堀江医師やヴォーリス記念病院のホスピス関係者のご協力のあったことを感謝しております。同時に、召された日の晩、ホスピスの部屋で一晩母の亡骸と一緒に過ごせたことは、今も忘れることができません。



会の終わりに、納骨式。和子母の願ひかないましたよ。てる子師と仲良くね。

ん。決して孝行息子などではなかった、むしろ大いに迷惑をかけた私ですが、母の寝かされていくベッドの横で、過ごした時は、台風が近づく大風の吹き荒ぶ中ではありましたが、不思議と心の中は静かで平和でした。「人は生きてきたように死んでいく」終末医療の権威、柏木哲夫医師の言葉です。その生きてきた最期を、どんなふうを迎えることができるのか、確かに理想はあるに違いないでしょう。しかし、完全な死がないように、

完全な生もないはずで
す。もっとこうしたら
よかった、こうしてあ
げればよかったと私た
ちは、悔います。けれ
ども、神様のみ腕は、
最後はどんなに不完全
であったものも、暖か
く包み込み完全なもの
としてくださる。こう
して終末期医療の一端
に関わりながら、確信
するものです。

曇天に映える満開の
桜の花が、私たちの主
イエスキリストの復活
を思い起こさせること
でしょう。いずれま
た、私たちも懐かしい
人々のいるところへと
旅立ちます。どうか、
今日の記念会が、そし
て講演会が皆様方の心
のうちに、両手を広げ
待っておられる復活の
主との出会いの時とな
りますように。本当に
ありがとうございますし
た。

(アシュラムセンター
主幹牧師)

第40回ブラジルアライアンス教会 アシュラム

福浦 利明

日時

2024年

2月11日(日)

13日(火)

場所

エンブ、ダス、アル
テ、使徒サンパウロ
の家

聖書

マタイによる福音書

11、12、13章

テーマ

「柔和で謙遜な心」

ルージラモス教会が

ここサンベルナルドカ

ンポ市に産声を上げて

58年が過ぎました。そ

の58周年の教会暦の中

心にアシュラムがあり

ました。

今回のアシュラムに

参加して下さった方々

は119名でした。特

別講師として日本から

榎本恵師をお招き出来

ました。今回は特別に
奥様の同伴をお願いし
受け入れて下さいまし
た。

今改めて「アシュラ
ム10の心構え」を「反
すう」しています。神
さまからの聖書を聴
き、瞑想し祈らされて
いることは、今後の信
仰生活が「死に至るま
で」忠実であり、生命

の冠を受ける日まで信
仰の走るべき行程を忍
耐を持って走り続ける
こと、又信仰の遺産が
一代限りで終わること
なく子々孫々まで伝わ
るよう祈り心がけるこ
とです。

日本人の宣教とブラ
ジル同胞の救い又、世
界宣教の為に祈りま
す。

(ルージラモス教会)



アシュラムの合同に。福浦兄は右から3人目。戦後、ご夫妻で移住。恵師
左には、札幌での国際正義平和アシュラム講師、この度通訳ご奉仕ジュ
ラ柳原、マミご夫妻。皆様大家族！大らかで暖かなおもてなしに感謝です。

主幹牧師の2023年度の振り返りと2024年ビジョン(3)

内容により、順を変更。
振り返り残りは、
次号以降に。

2024年度のビジョン

その後、わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。
あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、
若者は幻を見る。 ヨエル3：1

*金田も榎本も、霊の部分に神からの満たしを受けてこのようになったのだった。その時、良雄も気づいた。人間だけではない、会社も同じではないか。ただ儲かるものを売って、次にもっと儲かりそうなものを売る。そうやってたくさん儲かったとしても、あるいは儲からなかったとしても、これでは霊の部分が空っぽの、幻を持たない民(箴言29：18)と同じではないか。会社にも人と同じようにたましいの部分があって、そこに力と命が与えられるならきっと違った形になるに違いないと思った。

金山良雄著『カナヤマヨシオ』より

1) ヨセフ基金について

まず今年のビジョンへ入る前に、1月1日に北陸地方を襲った「令和6年能登地震」の被災者の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。今もなおインフラが復旧せず、寒空の中多くの人たちが、避難所生活を送っておられます。道路が寸断され、支援物資の運搬もままならない中、生活されている方々のことを思う時、心が痛みます。「能登はやさしや土までも」という言葉があるそうですが、私たちがこの優しさに応えていかなければと思っています。

思い起こしてみますと、1995年1月17日の「阪神淡路大震災」から、この30年足らずの間に、私たちは何度も大きな地震を経験してきました。「新潟県中越地震」、「東日本大震災」、「熊本地震」など、日本列島はまさに地震活動期に入っていることは間違いありません。またここ30年の間に、90%の確率で「南海トラフ地震」があるという話を聞くにつけ、私たちの心は不安と恐れに苛まれます。しかし、聖書はこう言います。「わたしたちは決して恐れない。地が姿を変え、山々が揺らいで海の中に移るとも、海の水が騒ぎ、沸き返り、その高ぶるさまに山々が震えるとも」(詩46：3-4)そしてこう宣言するのです。「力を捨てよ、知れ、わたしは神。国々にあがめられ、この地であがめられる」(詩46：11)と。私たちアシュラムセンターは、どんな時もまずこの祈りを捧げるものでなくてはなりません。

今回の年頭アシュラムの実行委員長を引き受

けてくださったのは、石川県羽咋市に住む岩城輝雄兄です。羽咋市は、震源地である志賀町の隣の市です。幸い岩城さんのところは、大きな被害もなかったようですが、しかし、ここまで来るには、まだ鉄道や道路も完全に復旧しておらず、大変な困難の中、金沢まで出られ、こうしてきてくださいました。感謝です。何よりも祈ることを大事にしてくださるその姿勢が、私たちにとって、どんなに大きな励ましとなることでしょうか。私たちの上にもまた、どんな災害が襲ってくるかわかりません。しかし、「たとえ明日、世界が終わりになろうとも、今日、わたしはりんごの木を植える」。ルターの格言として知られるこの言葉を、もう一度思い起こそうではありませんか。

さて、アシュラムセンターは、東日本大震災を契機に、「ヨセフ基金」という義援金制度を始めました。それは、エジプトの7年の豊作の時期に、その後の7年の凶作に備え、エジプトの宰相となったヨセフに倣ったものです。東日本大震災の時には、特に岩手の角谷晋次牧師を通し支援をし、また水戸、福島からの避難の方を受け入れることができました。また熊本の震災にも義捐金を送ることができました。もちろん、それは有名人や大きな組織がなすものに比べれば、わずかな小さなものです。しかし、私たちは、なるべくその現地に住むアシュラムの友を通して、支援することを決めています。今回の能登地震についても、岩城兄弟を通して、ヨセフ基金を有効に使っていただけるように、お願いしております。また、現地が落ち着いてきた時には、必ず訪問し、祈りを合わせることができたら幸いであると思っています。どうか、皆様、引き続きお祈り、またご協力お願いいたします。(続く)



この度、台湾の地震被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。榎本和子記念会にて、集められたヨセフ基金合わせ、齋藤師に託し、文蘭教会へ。写真は昨年(2023年)の国際正義・平和アシュラムin新潟、敬和学園にて。花蓮の若人方の美しく力強い讃美の舞。参加者皆心打たれ…平和への祈り、より深く…。

「アシシラム」に集う友らを思いつつベッドに祈る第二十六
 ター主催に。皆様のご参加お待ちしております。

三重ミニアシシラム 小林佳子姉

小林御夫妻の祈り継がれ、三重アシシラム29回。今回よりアシシラムセン
 毎月第三月曜日開催継続中(世話人 三好鐵雄師)



記念会に出席出来ました事 感謝でした。

正岡 リツコ

(和子母と今治時代からの信仰の友。写真中央)

京都駅に着き、タクシーに乗るのに時間がかかり、車の中で時計ばかり見ていました。やっと葵教会につきほっとしました。なんとか時間に間に合って席に着きました。葵教会の牧師先生の説教、空さんの祖母様への思い、お二人の温かいお話に榎本和子さんに想いを寄せる事が出来ました。「リツちゃんよくきてくれましたね」奥様の声が聞こえてくる思いでした。

今治教会にご在任中から何かとお世話になりました。

保郎先生、奥様ほんとうに有難うございました。

てるちゃんの召天は、お母様として悲しくどうすることも出来ない思いだったと思います。神様の慰めと恵先生ご家族、るっちゃんご家族の優しいお心遣いの中に囲まれての生活だったと思います。

今、保郎先生、てるちゃんに会ってどんなお話しているかなと思います。又お会いできますように…!

葵教会に着いた時、教会の前のしだれ桜きれいでした。帰りのタクシー、鴨川の土手の桜、本当にきれいでした。タクシーの運転手さんもゆっくり走ってくれました。

記念会に出席出来ました事、ほんとうによかったです。色々とうございました。これからもよろしくね。

(リツコ様今治の皆様、共にセンターの働きを祈りお支え続け下さり感謝です。私達もお祈りしています。センター一同)



今治から娘ノリコ姉在の東京に。
 和子母記念会には、新幹線で。



リツコ姉からの電話にいつも大笑い!
 何のお話かな? 和子母 2022.11月



小林茂男・佳子御夫妻と。(2017.1月)



◀↑え!?どちらも
 天の国なのでは?!
 池谷治朗兄と。
 (2020.1月)



池谷照雄・寿子御夫妻。
 静岡より記念会に。
 “また来ます!!”→

いえじま 雑記 11 春先の長い旅が終わり

春先の長い旅が終わり、伊江島に帰ってきました。むこうでお会いした皆さま、大変お世話になりました。普段は電話越しにしか会えないような人々や懐かしい人々と会い、伊江島では逆立ちしても食べられないような食べ物を食べ、たくさん刺激を受け、楽しい思い出をたくさんつくり、子どもたちも僕たちも充実した、濃密な日々を過ごしました。

とはいえ、家族五人の大移動は過酷なもの。葵教会での記念会を終え、その夜空港近くのホテルまで移動したときは、みなぐったりしていました。帰りの飛行機は言わずもがなで、一歳になった三女は、抱っこしてみても、お菓子を与えてみても、壊れたスピーカーのごとく泣き叫ぶばかり。子どもたちを連れて飛行機に乗ったことは何度かありますが、あんなに過酷だったフライトは初めてです。そうして帰った先は、雨の続いたうりずんの季節の伊江島。かびっぽいやと伸び放題になった庭の雑草が、僕たちを待っていました。それから体調を崩し、草刈りをして二週間ほど経ってようやく、日常の生活に戻りつつあります。

次、皆さまとお会いできるのはいつになるでしょうか。いつかこの地上では会えなくなる日が来ることを思うと、多少の無理をしても、会える時には会っておきたいと思う今日この頃です。

榎本 空(ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)

あとがき

台湾花蓮県の文蘭教会は、私たちアシシラムセンターとも深い関係のある教会です。昨年、新潟で開催された国際正義平和アシシラムにも、16名の方が参加され、素晴らしい賛美と踊りを披露してくださいました。

今回4月3日に台湾を襲ったマグニチュード7.2の大きな地震があったのは、この文蘭教会のあるあたりです。幸い人的被害はありませんでしたが、ナン牧師の住む家の家具の大半が壊れたそうです。

私たちアシシラムセンターでは、緊急の支援のために「ヨセフ基金」という献金を募ってきました。エジプトの宰相になり、7年の飢饉に備え、7年の収穫を蓄えたヨセフの故事に習うものです。今回も元旦の能登半島地震のために、当地に住むアシシラムの友を通して義援金をお渡ししました。今回の台湾へも、義援金をお送りしています。

どうか皆様方、台湾のアシシラムの友へ、直接お渡しできる義援金へのご協力をお願いいたします。アシシラムの友が、国境を超えて祈り支え合う、その実践であると思います。どうかこの緊急のお願いにお答えください。よろしく願いたします。

(恵)

助け手と 選ばれる人 和子夫人 内なる人は 日々新たなり

小林佳子姉 歌集であいの第三集より

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。
直前の変更の場合あり！

5月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

7(火)	Zoom聖書教室 (Zoom AM10:30、PM7:30)
11(土)	聖書と学ぶ会 (Zoom PM8:00)
13(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)
15(水)	みんなのカフェちいしば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)
17(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)
19(日)	ちいしば牧師記念チャペルタ礼拝 (PM5:00)
20(月)	使徒書に学ぶ会 (Zoom AM10:30、PM7:30)
21(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)
27(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
28(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
28(火)	しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)
29(水)	美しい足の会 (Zoom AM10:30、PM7:30)

5月のアシュラムなど

16(木)	修道場アシュラム	0748-33-4030
18(土)	(アンナ祈りの家、シメオン黙想の家) アシュラムセンター	
26(日)	呉教会アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター

6月のアシュラム予定

1(土)	加古川祈りの家 (小林清子姉宅) PM1:00~ 奉仕者 榎本 恵師	0794-23-3004 小林 清子姉
15(土)	第29回 三重一日アシュラム (近畿福音ルーテル津教会) 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
20(木) 23(日)	沖縄巡礼の旅 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
受け付け終了！申し込み者10名超え 感謝！！		
20(木)	沖縄聖書教室 PM6:00~7:30 日本基督教団首里教会	沖縄の皆様、 お待ちしております！！

7月以降のアシュラムなど

7月15(月・祝)	第27回 福岡一日アシュラム
7月20(土)	第5回 四国一日アシュラム
7月25(水)~27(土)	常任運営委員のための修道場アシュラム
7月27(日)	天上の友を憶える日礼拝
8月11(日)(午後)~12(月・祝)	第2回 ユースのための修道場アシュラム
9月15(日)(午後)~16(月・祝)	第3回 ユースのための修道場アシュラム
9月20(金)~21(土)	新潟アシュラム

台湾地震で被害に遭われたアシュラムの友のために募金をお願いいたします。
【振替口座】01050-6-53772
【口座名義】アシュラムセンター運営
*備考欄に「ヨセフ基金」とお書き下さい



久々の修道場アシュラム感謝！
詳細は後に。5月も是非！

みことば



シメオン庭のザクランボ

日本キリスト教団取手教会
牧師 金子敏明

ただ指し示すために街に向かった

ルカ 3：1~22

「皇帝ティベリウスの治世15年」とは紀元28年ごろ。イエスを十字架につけるピラト総督、悪名高きヘロデ大王の息子ヘロデ・アンティパスといった人物の名が記されています。大祭司アンナスは権力志向の強い男で自分の息子5人と娘婿1人を大祭司にしました。政治も宗教も腐敗しきっていた時代のことです。

ルカはこのテキストにいくつか独自の記述をしています。たとえばヨハネといえば「荒野野で呼ばれる者」ですが、ここではヨルダン川地域の人々の暮らしの中に進み出て語ります。また人々に向けて洗礼にあたってのやり取りを記しています。徴税人に対しては「規定以上のものを取り立てるな」兵士には「だれからも金をゆすり取ったり騙し取ったりするな、自分の給料で満足せよ」と告げます（そういう行為が蔓延していたのでしょう）。洗礼とは人間の内面が整えられるということに留まりません。バプテスマとは元々沈むという意味です。人間は誰も罪のうちに深く撃沈される。そこから主イエスによって新たな命へと引き上げられるのです。バプテスマとは単に教会の成員を増やすことにあるのではなく、個人の内面を清らかにするだけのものでもありません。具体的にその人の生き様そのものが変えられることなのです。

ローマに支配された植民地状態で、民族の誇りも奪われて、政治の責任者も宗教者も頼りに出来ない。そんな中でメシアを待ち望む声はいやが上にも高まります。期待に満ちた声の中で「私はそれではない」との確信を持ち、ただこれから来られる神の御子を指し示すのみ。もしもこのヨハネのように私たちが生きたとしたら、イエス様を指し示すことだけに生きられたら…恐らく世界からもっと争いはないし、福音ももっと広がりを見せるのでしょうか。

閉塞感が広がり、強い言葉を使う人物をヒーローとして持ち上げる。あるいは神の名の元に、暴力を正当化する。教会がカルト化する、牧師が教祖様になってしまう。これも同じ病理ですよ。だから忘れないでいきましょう。私たちは主の靴ひもを解くほどの価値もないって。そんな私たちに出来ることは、主を指し示すこと。主の道を備えること。私たちの愛がイエスを指し示すこと。福音がこんなところにもあるんだと、この世の中で見つけてあげるんじゃないでしょうか。

「物も言わないと思っているその石が大事なことを語り出して下さることを信じ、この愚かな者を導いて下さい。」 榎本恵(早天の祈りより)



神に送る者の行く道は平らです

イザヤ書40:3

KAZUKO ENOMOTO

愛あふれる皆様により心温まる記念会をあげがとつてまいりました。

和子一同